

第8章 東急多摩川線の思い出

第319回目のウォーキングは、平成24年3月31日（土）、強風の中実施。この日は、高校の先輩の末澤美紀子さん（わいわい会賛歌の立役者）から、エレクトーン・ピアノコンサートの招待状を頂き、そのついでに歩く。



作詞 榎原 勉

作詞 長町 順史

編曲・演奏 末澤 美紀子

※わいわい会

(高松一高同窓の歩き会)

朝、第48回のわいわい会（7月21日）の宿泊先への手続きに時間を要する。数年前に購入した「全国版宿泊表（2007春）」から選定し、小牧にある丸屋旅館（担当田中氏）に決める。アクセスが当初考えていた宿（犬山遊園）より少し遠くなるが、ここで決める。人数が昨年を上回る35名になっても対処できるからである。主要な条件として、

財布にやさしいこと、宴会ができること、観光地から近いこと等であった。ただ、浴室がやや軟弱であるが、予算の関係からやむを得ないだろうと判断する。早速、昨年参加頂いた福家さん、谷本さん、佐藤さん、藤本さんに早速電話を入れ、了解も取る。あっという間に10時となる。慌てて支度をして、コンサートに向う。



自宅を10時10分頃出る。小雨で強風のため、南林間までバスで移動を考えたが、生憎土曜日に昼間ダイヤの関係で待ち時間が多く、急遽、中央林間まで歩くことにする。当初、家内に中央林間まで送ってもらう予定であったが、子供が急遽車を使うことになり予定変更となる。その関係で中央林間11時9分発の南栗橋行きの電車となる。東急で大井町まで行き、そこからJRに乗り換え大森駅に向うコースである。この日は強風の影響で徐行運転となり、30分位予定時間より送れる。JR大森駅には12時20分頃到着。大森駅からタクシーに乗り、コンサート会場（大田文化の森ホール）に向う。会場には12時37分頃到着。



少し遅れたが、オープニングの「さくらさくら」の演奏を聴くことができた。この演

奏会（先生と生徒により構成）に出て感じたことは次の通り。とにかく、3時間半があつという間に過ぎ去る。ピアノの音色もいいが、エレクトーンの音色も凄い。宇宙の世界にいる心境にさせてくれた。入社当時、昼休エレクトーンの音色（越路吹雪さんの曲が印象的）を聞いたこともあり、エレクトーンの音色を聴くと私をロマンチックの世界にさせてくれる。当時に比べ、大きな変化を感じた。新に宇宙の世界が加わったからだ。また、一方ではジーンと来る曲もあった。ルピタのテーマソングの「君をのせて」、鶴巻さんからカラオケでよく聴いた「地上の星」等。

- ① 末澤音楽教室の生徒さん（30名～40名）を軸とする演奏会である。
- ② 生徒さんの年齢層は児童～年長者までと幅広い。
- ③ プログラムの構成が凄い。

第I部

- ・ オープニング さくら さくら 末澤先生
- ・ アンサンブル
- ・ No1～N21のエレクトーンとピアノの演奏
- ・ E&P デュオ
- ・ コーラス



第II部（10分休憩）

- ・ ファンタジック・ディズニー
- ・ アンサンブル 2駒

- ・ No22～No36 の演奏
- ・ ES 銀座店大会金賞受賞「リバーダンス」
- ・ E&P デュオ
- ・ ピアノデュオ
- ・ 全員合唱
- ・ フィナーレ NHK スペシャル ホットスポット「最後の楽園」末澤先生

④ 演奏会の時間は 12 時半～16 時（約 3 時間半）と充実。

⑤ 背景のスクリーンが凄い。

プロフィールや音楽のイメージを出力。

16 時 10 分頃、花束贈呈で終焉となる。大田文化の森ホールを出た後も依然として、雨が降り続けていた。しかし、何となく西の空が明るくなっていたので、「徒歩 15 分要する大森駅に着く頃には止む」と確信する。それで、有効時間の活用のため、東急で唯一未踏破の東急多摩川線に挑戦することにする。JR 大森駅で 15 分位待たされる。JR で一駅先の蒲田駅まで移動する。予想通り、JR 大森駅に着く頃には雨は上がっていた。大森駅の商店街は徒歩で 10 分位の長いアーケードが続いていた。ここでも大都市を実感する。過疎化減少とは違う元気さを感じたからである。流石東京である。JR 蒲田駅には 16 時 50 分頃到着。本日歩きの東急蒲田駅には 16 時 54 分到着。

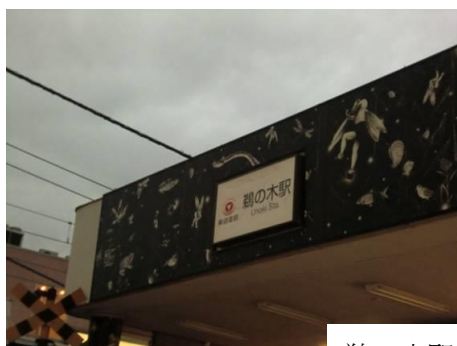


この駅は数年前、わいわい会で歩いた池上線があった。これより、5.6 km 先の多

摩川駅を目指す。地図を見る限り、簡単そうなコースであった。17時10分、矢口渡3号踏切を横切り、東急線の右側を歩く。主として環状八号線を歩く。矢口渡駅には17時16分到着。武蔵新田（にった）駅には17時29分到着。下丸子（しもまるこ）駅には17時40分到着。



暗くなりかけて、下丸子駅で鉄道の線路が見えないので、少し焦燥した。しかし、直ぐ先に東急線があったので安堵する。多摩川線は名前の通り、多摩川の流れて沿って鉄道が続いていた。多摩川線は東急線の中でも複線であった。2から4両編成の車両で、車両のタイプも色々。恐らく、その他の線路のお下がりであろう。大井町線の車両もあれば、田園都市線の車両もあった。鶉の木駅には17時51分到着。本日は強風の影響で昼食抜きで、お腹がぺこぺこ。駅前に鯛焼きの店があり、1個購入し、食べながら歩く。鶉の木駅から沼部駅までは、鉄道の直ぐ右に歩道が続いていた。18時6分、前方頭上に新幹線と横須賀線の線路があった。ここで、歩道は行き止まりとなる。幹線道路に出る。そして、少し歩いた先に沼部駅（18時10分）があった。辺りは暗闇の状態となる。地図を確認し、踏切を横切り、鉄道の左側を歩くことにする。



丁度、上下の電車が沼部駅に登場し、踏切が塞がる。踏切を横切ると、多摩川が続

いていた。左手には多摩川、右手には多摩川線が続いていた。多摩川駅手前には、二子多摩川行きのバス留まっていた。発車時間前であった。多摩川駅には、18時24分到着。駅前には野菜を発売しているローソンがあった。東横線、大井町線、田園都市線を乗り継いで自宅には、19時50分到着。中央林間駅に着くと、雨がぽつり降ってくる。自宅に着く頃には本降りとなる。しかし、多摩川線踏破の際には、運良く雨には遭わず、ラッキーであった。本日の大きな成果は、素晴らしいコンサートに参加できたことだ。いい人生勉強になった。特にエレクトーンの凄さにただただ感動した。末澤先輩の凄さにエールを送りたい。なお、本日の歩きの成果は、営業キロ5.6km、万歩計は19,237歩だった。これで東急線の全線を踏破できる。充実した一日であった。



※多摩川駅